



映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

6組 5番 名前 稲村 勇樹

【映画】

ロード〜生命の糧〜

【レビュー】

概要

20世紀に94%の野菜種子が失われた。
現在も種子は減りつつある。

原因

- ・ 農薬 ← “オス”のカエルが“メス”に変わってしまうこともある。
- ・ 遺伝子組換え ← “人間の思い上がり” “神の御杖”という批判もある。
- ・ 戦争 ← 敵国の種子バレルへの攻撃

現在の対応

- ・ 世界種子貯蔵庫 ← “終末の日のための貯蔵庫”世界中の種子が集められる。
- ・ 農薬を規制する法案 ← 健康への懸念から。

これからの対応

- ・ 農薬反対のデモ ← 生徒の健康を心配した先生から始まった。
- ・ 学校などで種子の大切さを教える ← 多くの人に伝えるため
- ・ 種子バレルを建てる ← 地域だけでなく人類の利益にもなる。

感想

人間の身勝手さを思い知らされる映画だった。

特に農薬が原因で種の多様性が失われていることは驚きだった。
しかし、遺伝子組換えが種子におよぼす影響の根拠が少な
気がした。例えば「神の御杖」では、今までの伝統通りに農業を
行わなければならぬ、という主張にはある程度納得できなかった。